

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年 3月 31日

(あて先)松本市長

(申請者) 城北地区住みよい町づくり協議会

1 交付決定額	I	金 650,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：城北地区防災活動推進事業				
実 施 主 体	城北地区住みよい町づくり協議会（安全の部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	城北公民館他			
事 業 概 要	1 地区防災計画の策定と普及 2 開智小学校避難所運営委員会の活動支援及び委員会へ参加 3 避難所運営委員会の活動支援として災害対応ゲーム（クロスロードゲーム）の実施 4 地震体験車による地震体験（中央地区合同） 5 北部交番警察官を講師として「特殊詐欺、ロマンス詐欺等にあわないために」講演会を実施 6 防災備品（パトロールベスト）の購入			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	1 クロスロードゲームは、災害時等で自分の考えとは違う考えを知ることができる良い催しでした。 2 毎日のように発生している「詐欺被害」、地域住民の安全な生活を守るため「詐欺・被害に遭わないために」をテーマに北部交番の警察官を講師に講演会を実施。多くの方から「非常に参考になった」という声が聞かれ、初めての開催でしたが非常に好評でした。 3 地震体験車による地震体験では、阪神・淡路や東日本大震災の震度を子どもからお年寄りまで多くの住民が体験しました。体験する機会はなかなかないため防災意識を高めるためにも良い機会となりました。是非、体験したことを町会の防災訓練等の活動にいかしてもらいたいと思います。			
課 題	・6月に地区防災計画を策定しましたが、地区住民への周知がされていないため、今後は周知方法の検討が必要。 ・例年、防災備品を購入しているが管理が徹底されておりません。また、計画的な購入ができていないことから、先を見越しての事業計画の策定が必要。 ・地区内に避難所が4か所（城北公民館・開智小学校・深志高校・旭町小学校）ある避難所運営委員会の運営方法等に温度差があります。また、運営委員会は開催していますが、訓練が未実施であることから開催できるよう支援が必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	144,389円	114,389円	30,000円	円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：城北地区健康づくり推進事業				
実 施 主 体	城北地区住みよい町づくり協議会（健康の部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	城北公民館他			
事 業 概 要	・子どもから高齢者まですべての地区住民を対象とした健康づくり、介護予防フレイル予防のための各種事業等を年間通じて開催しました。 実施事業 ・ウォーキング大会・マレットゴルフ大会・スキー教室・軽スポーツ交流会・健康座 ポウリング大会			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	子どもから高齢者まですべての地区住民を対象とした健康づくり事業を通して、顔の見えるつながりをはぐくみ、支え合える地域づくりを進めることができた。			
課 題	参加者が減少傾向である事業は、内容の見直しを図り、幅広い世代間交流ができる、顔の見える関係づくりを進めることが必要。 長期にわたり同じ事業を開催しており、参加者も固定化していることから見直しが必要。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	198,641円	168,641円	30,000円	円

③ 事業名：城北地区地域福祉推進事業				
実 施 主 体	城北地区住みよい町づくり協議会（福祉の部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日から令和8年3月31日			
実 施 場 所	城北公民館			
事 業 概 要	「誰もが住み慣れた家・地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくり」を目標に取り組みました。 1 「城北地区 困った時のお役立ち！便利帳」を作成し11月に全戸配布。 2 「この地域で出会い別れた「いのち」～患者になった訪問診療医の今と未来への想い～」 講師 訪問診療クリニック樹 瀬角英樹所長 苦しい癌治療を続けながらも最後まで医師として患者と向き合い、そして患者としての姿を私たちに見せてくださいました。 3 「認知症当事者の方と、自分が認知症になったらどう生きるか一緒に考えましょう」 講師 長野県若年性認知症支援コーディネーター 伝田景光氏 長年希望していた認知症当事者をお呼びして、認知症と診断された時の気持ちや生活するうえで困っていること等を直接お聞きすることができた。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	1 「城北地区 困った時のお役立ち！便利帳」は、「救急車を呼ぶか迷ったらどこに電話すればいいか等」の内容が記載されており、目立つところに貼っていただき、「いざという時」に活用してもらいたい。 2 令和3年度から地区内で訪問診療医として活動している医師を講師に講演会を開催。通算3回の講演会を開催していただきました。残念ながら講師は3月にお亡くなりになりましたが、地域でできる支援体制について考える機会となりました。 3 長年希望していた認知症当事者の方との会議が実施できたことは非常に良かったです。「自らの体験や希望また必要としていること。自分たちが暮らしやすい地域のあ			

	り方」等についての話を聞き、認知症になっても工夫と、少しの助け合いでもっと自由に生きられることを学び、地域での理解が広がっていけばと思います。			
課 題	昨年度同様、参考図書を購入しているため、部会で読み合わせを実施し地域での活用を図っていきたい。 高齢化が著しく、認知症が非常に身近な病気となっている。今後も町会長会等と連携し誰もが安心して暮らし続ける地域づくりを進めていく。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	219,116円	189,116円	30,000円	円

決 算 額 (計) (①+②+③)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	562,146円	472,146円	90,000円	円

A：各事業のaの合計額
 B：各事業のbの合計額
 C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 防災物資整備事業					
積立目的	防災物資は必要な物資が多く、単年度だけで整備することが困難であるため、資金を積み立てるもの。				
積立期間	令和2年度から 令和13年度まで（本年度6年目）				
積立ての 目標金額	500,000円				
積立実績	区分		積立額	積立事業への 積立金充当額	差引累計
	前年度 までの 積立経過	1年目	119,508円	119,508円	0円
		2年目	189,057円	189,056円	1円
		3年目	46,446円	0円	46,446円
		4年目	54,978円	0円	54,978円
		5年目	74,290円	0円	74,290円
		6年目	50,000円	0円	50,000円
	本年度の積立実績		D 50,000円	E 0円	F 225,715円
	合 計 額		534,279円	308,564円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日（期間）					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの 成果・効果					
決算額	E + G		財 源 内 訳		
			E		G
	円		円		円

充当後の積立事業取扱方針	
	積立継続(年度まで)・ 廃止
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法	

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	90,000円
-------	---	---------

[参考]繰越上限額＝I×2／10